

知財ist研修2017シラバス

【知財ist研修2017】	
課程	海外課程
科目	PCTと欧州特許制度の活用
副題	～ 欧州特許制度を有効活用するための知識・手段～
日程	2017年9月20日（火） 10:00～17:00
講師	青和特許法律事務所 弁理士 下道 晶久 氏
科目別受講料	会員18,000円、一般22,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（45日間） 会員500,000円、一般600,000円 実務・訴訟・海外おまとめ受講料（19日間） 会員280,000円、一般350,000円 海外課程おまとめ受講料（4日間） 会員66,000円、一般82,000円
説明	<p>本科目では、特許庁とWIPO での豊富な実務経験を有する講師により、特許協力条約（PCT）と欧州特許条約（EPC）の基本的事項について説明し、欧州特許出願、及び欧州特許出願の約60%を占めるEuro-PCT 出願による欧州特許取得の手続きについて解説します。</p> <p>また、その中で、新規性喪失の例外（グレース・ペリオド）、異議申立制度、拡大先願の適用範囲等について、日・米との相違点について言及し、また、現行の欧州特許条約（EPC）と欧州連合（E U）による欧州統一特許制度との関係について解説いたします。</p>
レポート、演習の有無等	<p>講義中にレポート課題を提示します。希望者は講師による採点を受けることができます。（おまとめ受講者で、知財ist研修の修了証書が必要な方はご提出が必須です。）</p> <p>レポートの返却は、ご提出期限より2、3カ月後となります。</p>
事前質問について（研修日より1週間前まで）	<p>研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、9/12までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。</p> <p>（ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）</p>

<p>研修項目（昨年度目次例等）</p>	<p>第1章 知的財産に関する条約</p> <p>第2章 特許協力条約（PCT）の概要</p> <p>第3章 特許協力条約手続の流れ（国際出願から国内段階移行まで）</p> <p>第4章 ヨーロッパ特許条約（EPC）の概要</p> <p>第5章 ヨーロッパ特許取得の手続（その1：EPCルート）</p> <p>第6章 ヨーロッパ特許取得の手続（その2：Euro-PCTルート）</p> <p>第7章 異議申立て、審判、出願の分割、その他</p>	
<p>参考書籍等</p>		
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼんやりと覚えていたルールが明確になりました。</li> <li>・最初に基礎から教えて下さり、とてもわかりやすかったです。</li> <li>・細かな点まで解説していただけたので、大変勉強になりました。ありがとうございました。</li> <li>・ターゲットを絞った講義内容であり、丁寧で分かりやすかった。</li> </ul> <p>非常に質問のしやすい講義だったのが良かった。</p>	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。</li> <li>・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。</li> <li>・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。）</li> </ul>	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、5.5単位が認められる予定です。</p>	

2017.5.11